地域密着型金融の取組状況

平成２４年度上期

株式会社　紀陽ホールディングス

株式会社　紀陽銀行

KIYO
FINANCIAL GROUP

目次

地域密着型金融の取組状況

	頁
Ⅰ．地域密着型金融の取組態勢等	－１－
地域密着型金融の基本的な取組姿勢	－２－
地域における経済の活性化に向けての態勢	－３－
中小企業・個人事業者のお客さまへの貸出の状況	－４－
Ⅱ．地域密着型金融の主な取組事例	－５－
地域密着型金融の取組内容	－６－
１－①創業または新事業の開拓に対する支援の取り組み	－７－
１－②経営相談・支援機能の強化の取り組み	－８－
１－③経営改善・事業再生の取り組み	－９－
２－①地域活性化への取り組み	－10－
２－②企業連合体の組成によるニュービジネス創造、成長企業支援等の取り組み	－11－
Ⅲ．取組実績一覧	－13－
平成24年度上期　取組実績一覧	－14－

Ⅰ．地域密着型金融の取組態勢等

地域密着型金融の基本的な取組姿勢

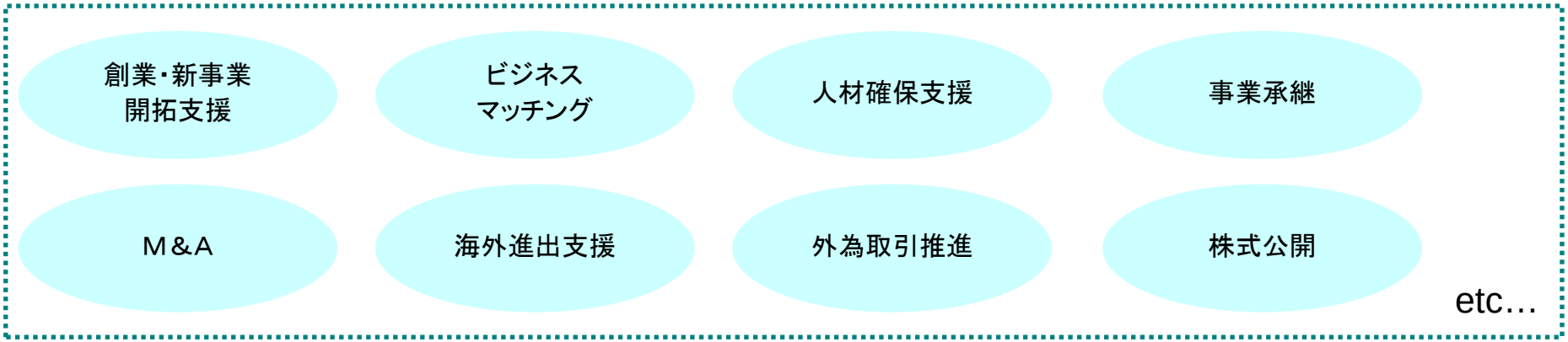
地域のお客さまとのリレーションシップを強化し、地域金融の一層の円滑化に資するとともに、産（地域企業等）・学（大学等）・官（地公体等）とも連携し、地域経済の発展に取り組みます。

1．お取引先企業の良き相談相手となることを目指します。
（コンサルティング機能の発揮）

2．地域経済の発展・活性化へ積極的に参画いたします。

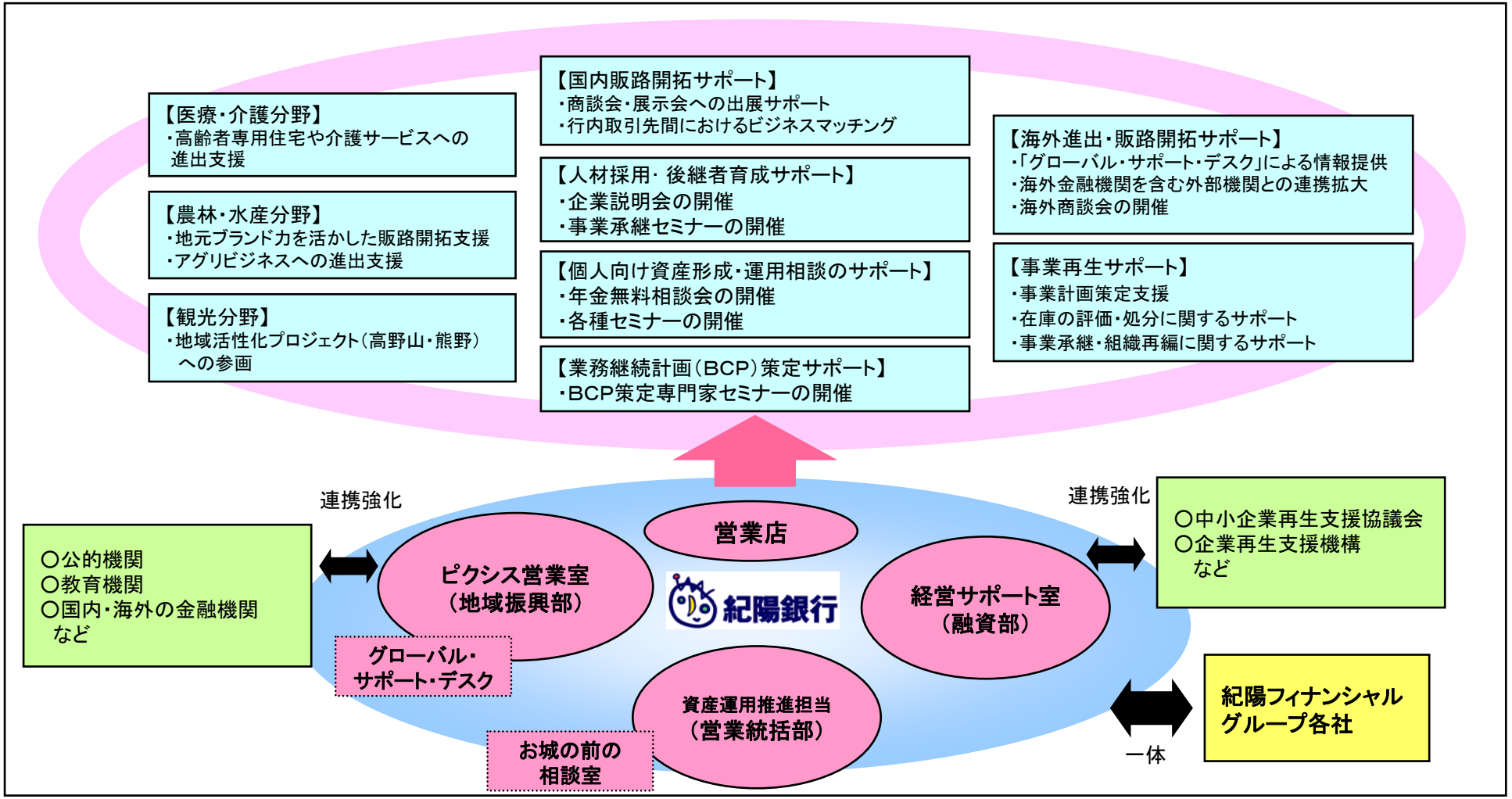
3．地域やお客さまに対する積極的な情報発信を行います。

上記の取組姿勢については、紀陽銀行が目指す銀行像である「お客さまから選ばれ続ける銀行」の1つの柱として位置づけております。



地域における経済の活性化に向けての態勢

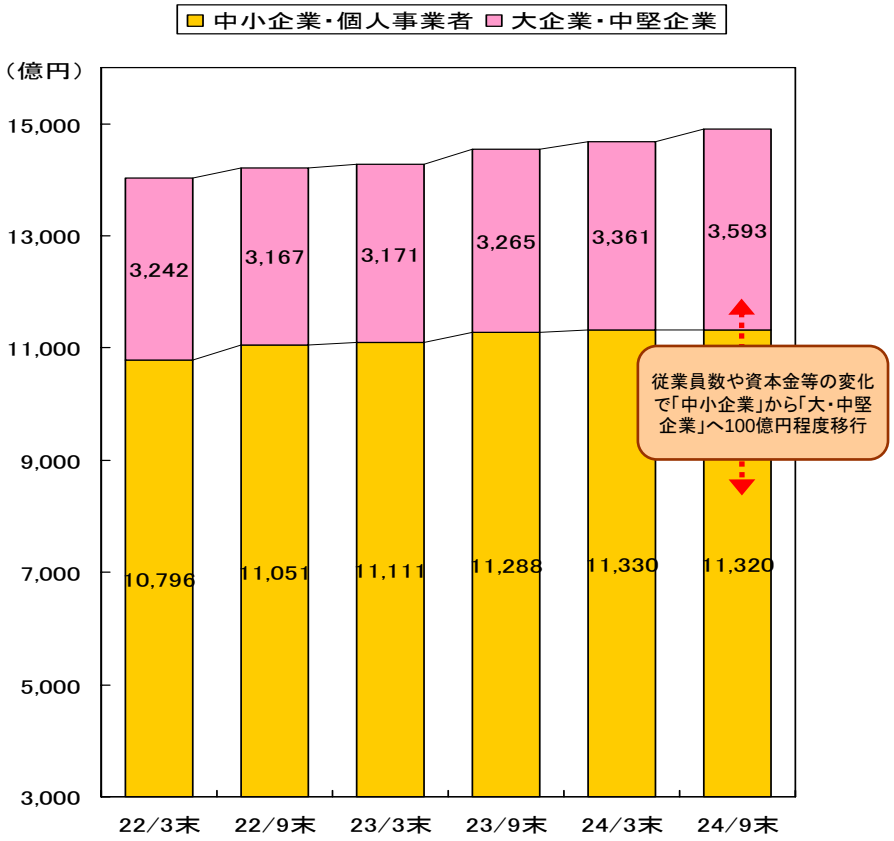
地域のお客さまに対して、紀陽銀行・紀陽フィナンシャルグループ各社のみでなく、各種公的機関や教育機関とも連携することで、より充実したサービスを提供してまいります。



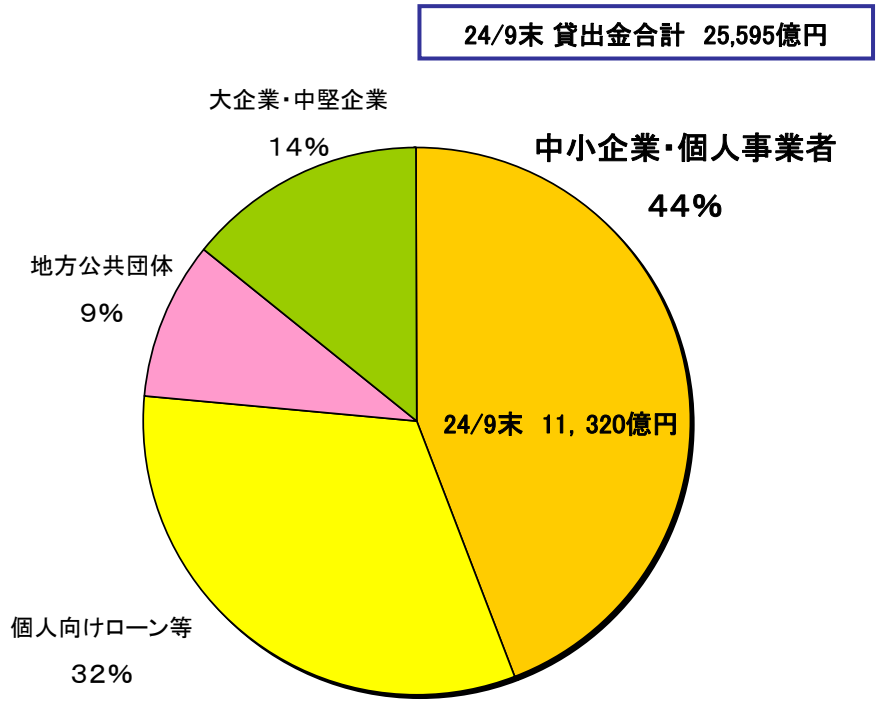
中小企業・個人事業者のお客さまへの貸出の状況

お客さまの様々な経営課題や資金ニーズに取り組ませていただいた結果、平成24年9月末の中小企業等貸出金残高は、1兆1，320億円となっております。

中小企業・個人事業者等への貸出金残高推移



中小企業・個人事業者のお客さまへの融資の状況



Ⅱ．地域密着型金融の主な取組事例

地域密着型金融の取組内容

１．お客さまに対するコンサルティング機能の発揮における活動

①創業または新事業の開拓に対する支援

産学官とのネットワークや外部機関と連携し、新事業進出支援・成長支援を始め、各種連携事業を展開し、地域の中小企業のお客様のサポート体制を築いております。

②経営相談・支援機能の強化

営業支援、M&A、海外進出、株式公開等お取引先からの様々なご相談について、営業店ならびに本部にて、外部提携先も活用しながらご対応しております。また、お取引先の経営改善にかかるご相談につきましてもご対応しております。

③経営改善・事業再生

地域金融機関である紀陽銀行の健全性・収益性は、地域の経済状況と密接に関連しており、お取引先の経営改善支援や事業再生支援に関する取り組みについて、積極的に活動を行っております。

２．地域の面的再生への積極的な参画

①地域活性化への取り組み
②企業連合体の組成によるニュービジネス創造、成長企業支援等

３．地域や利用者に対する積極的な情報発信

①会社説明会の継続的な開催

地域密着型金融の取組状況などについて説明し、地元地域における当行の取り組みを紹介しております。

②情報発信のための刊行物発刊

情報発信の手段として、ディスクロージャー・ミニディスクロージャー誌やグループ全体のCSR活動に加えて、営業店独自の取り組み等も紹介する「CSRレポート」を発刊しております。

③経営情報の公表

紀陽ホールディングスにおいては、各界の有識者である委員方をお招きし、半年に一度経営諮問委員会を開催し、当行の地元地域に対する取組姿勢などに対して提言を頂き、対応状況についても都度報告を行っております。議事内容および施策への反映状況については、ホームページにおいて公表し、経営に対する客観性の確保に努めております。

１－①創業または新事業の開拓に対する支援の取り組み

医療･介護分野への支援活動

- 平成２４年４月より、医療チーム（専担者２名）を編成し、外部機関との連携による情報収集体制とコンサルティングの枠組みをさらに充実させております。
- 医療チームにて対応した案件は、事業継承支援が８件、介護施設の収支計画策定支援が８件、医療法人の設立支援が１件となっております。

～取組事例～

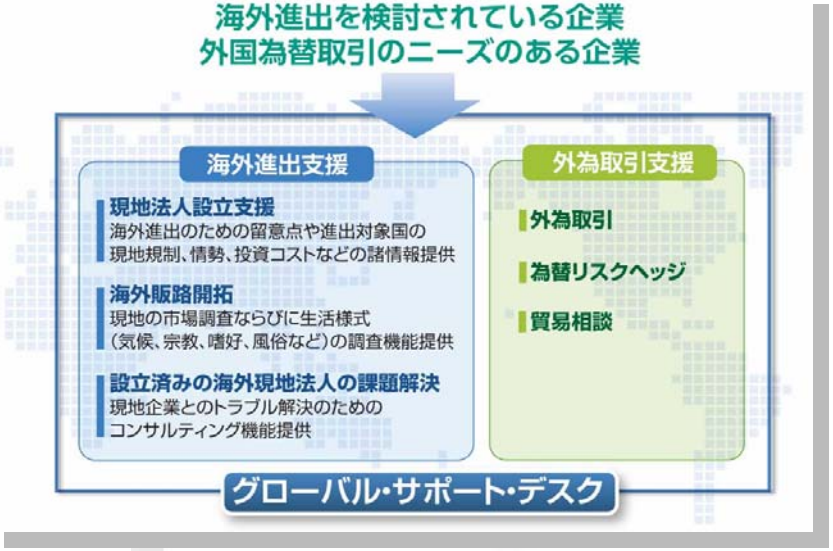
・和歌山県立医科大学との連携により、平成２４年９月までに計８回の異業種交流会を開催しており、いずれの交流会においても大盛況のうちに終了しております。

・平成２４年８月の「異業種交流会in和医大」（医農連携シンポジウム）では当行お取引先及び高等教育機関教授等、計８０名が参加されました。

　当日は、三重大学より講師を迎え、「三重大学が行っている医農連携による地域活性化への取り組み」と題した講演会を実施した後、医療・農業・産業に造詣が深いパネラー５名によるパネルディスカッションを行いました。

１－②経営相談・支援機能の強化の取り組み

海外進出支援



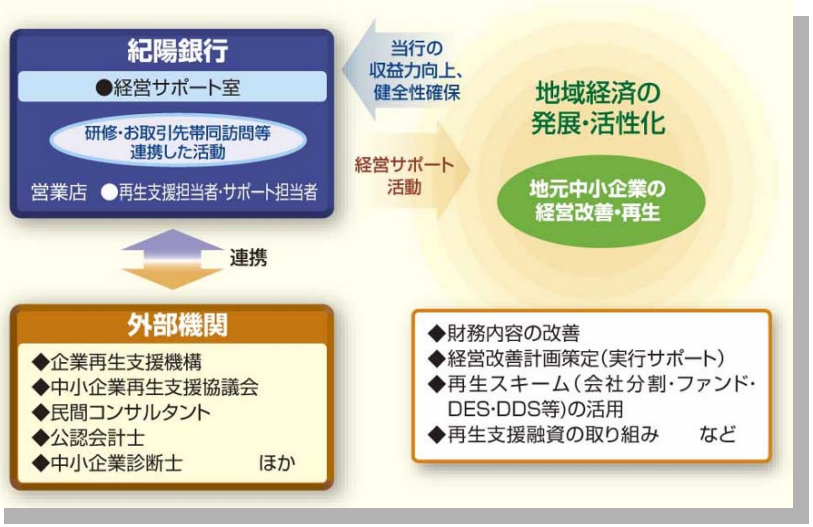
- 海外進出支援や外為取引等お客さまの海外ビジネス活動のサポート体制を強化することを目的として、地域振興部内に「グローバル・サポート・デスク」を設置しております。
- 平成２４年９月末時点で５０先以上の外部機関チャネルを構築しております。現地コンサルティング業者とのネットワークを活かし、現地法人設立支援や海外販路開拓等、様々な対応が出来る態勢を構築しております。

～取組事例～

・９月１２日、１３日の２日間にわたり、『日中ものづくり商談会@上海２０１２』が開催され、日系企業５８２社が参加し、当行お取引先からも８社が出展されました。
　中国では最大規模のものづくり商談会であり、過去最高となる５，７００社の中国企業が来場しました。
　中国企業の成長に伴い、日本企業の高い技術が注目を受けており、販路開拓のよい機会となっております。
当行お取引先については、約４０件程度の商談が継続中となっており、「次年度も出展したい」とのお声も頂戴しております。

１－③経営改善・事業再生の取り組み

経営改善･事業再生支援



- お取引先の経営改善支援や事業再生支援に関する取り組みを当行は重要課題の一つに位置づけ、積極的に活動をおこなっております。
- 平成２４年７月には経営改善支援活動を更に強化するため、経営サポート室へ３名増員し、現在１０名体制となっております。
- これまでの取り組みを通じて蓄積されたノウハウを活かし、企業再生支援機構や中小企業再生支援協議会などの外部機関・提携先とも連携し、お取引先の経営改善支援に取り組んでおります。
- お取引先の経営改善を通じて、雇用や商流の維持・拡大など地域経済の発展・活性化に貢献してまいります。

～取組事例～

・平成２４年度上期は経営サポート室と営業店が連携し３０６先のお取引先に対して重点的に経営改善支援活動に取り組みました。

・また、中小企業再生支援協議会とも積極的に連携を図っており、新たにお取引先２先について経営改善支援に向けた取り組みを開始いたしました。

～金融円滑化法終了後の当行の取り組みについて～

金融円滑化法終了後も、当行はお取引先の返済条件変更等の申し出に対しては可能な限り柔軟に対応いたします。またお取引先の経営改善に貢献するため、より一層のコンサルティング機能の発揮に努めてまいります。

２－①地域活性化への取り組み

人材の育成活動

➢ 平成２０年２月に和歌山県と当行が協定を締結して以来、県内企業の育成支援、産業人材の育成、観光・まちづくりなどを通して地域経済の活性化を図っております。

～取組事例～

・和歌山県が実施する「産業人材育成支援事業」の一環として、和歌山大学にて『和歌山企業トップ経営論』を開講しており、平成２４年１０月１８日には当行役員が講師として学生約４００名に対し講義を行いました。
　当行への入行経緯から、営業店や本部等での経験談、金融業界の現状、当行の経営方針等を説明しました。

・平成２４年７月～１１月にかけて和歌山県と協力し、「ＢＣＰ策定専門家セミナー」を開催し、１９名の専門家を養成いたしました。
　セミナーでは模擬訓練など実際にＢＣＰ（業務継続計画）が機能することを重視した講座で、地元税理士や経営コンサルタントの方などが参加されました。
　今後は和歌山県と連携し、県の経営者向けセミナーでＢＣＰの重要性を啓発し、その後、専門家が計画策定のフォローをするという体制が整いました。
　既に具体的にご相談を開始した事例もあり、今後の活躍が期待されます。

２－②企業連合体の組成によるニュービジネス創造、成長企業支援等の取り組み（１）

農業分野への取り組み

- 一般的に農業分野への進出事例では生産が先行し、販売先の確保で悩まれるケースが多く見られます。
- 当行では商流の川下である販路を重視し、消費者に直接つながることができる機会を模索しております。

～取組事例～

・株式会社ぐるなびと提携のうえ、同社のネットワークを活用した「商品力向上プログラム」を開始し、平成２４年７月の説明会にはお取引先１２社が参加されました。
　当プログラムでは対象となる食材をぐるなびネットワーク内の地元出身シェフに調理方法やサンプルを考案してもらい、ぐるなび加盟店向けの食材カタログに掲載します。加盟店内で徐々に販売が進むことで、それを見越した生産が徐々に増強される仕組みを目指しており、スーパーなどから大量受注に応じる生産体制が整っていない食材の育成プログラムとなっております。

・具体例としては、収穫期が短く希少なため市場には出回らない「足赤エビ」や、傷みやすいため流通が困難であった「生しらす」について、新たな冷凍設備導入により問題を克服したお取引先に対して、さらなる価値を創造するために、ぐるなびのシェフのアイデアと技術を活用するサポートを検討しております。

２－②企業連合体の組成によるニュービジネス創造、成長企業支援等の取り組み（２）

地域ブランド開発支援

- 地域で優れた産品を生み出している企業様と連携し、地域ブランドとして新たな価値を付加し、新たな販路に乗せて全国のお客さまにお届けすることで、地域の魅力発信と地域経済の活性化に貢献する取り組みを行っております。
- 良いものを作ることができる一方で、販路開拓において悩みを持たれている事業者様は数多くおられます。戦略的な販路開拓をサポートすることで地域内の生産拡大につなげていくための取り組みを進めております。
- 外部専門機関等にお取引先を紹介し、従来のように良いものを作るだけでなく、地域ブランドを意識したものづくりを進め、地元地域ブランドの開発をサポートしてまいります。

～取組事例～

・高野山金剛峯寺は平成２７年に迎える高野山開創１２００年を契機に地域経済活性化に貢献すべく、地元企業の高野山ブランドを活かした商品開発を支援する方針を打ち出しました。

・当行もこの趣旨に賛同し、平成２４年８月に高野山金剛峯寺と連携協定を締結しました。具体的な取り組みとして、当行お取引先３５社を紹介し、ブランドのコンセプト作りに着手しました。今後は地元農産品や工芸品の販路開拓サポートをおこなってまいります。

Ⅲ．取組実績一覧

平成２４年度上期　取組実績一覧（１）

項目	具体的な取組内容	実績
１．お客さまに対するコンサルティング機能の発揮における活動		
①創業または新事業開拓支援	■公的支援策と連携した新事業開拓支援 ・バイオマス資源活用協議会設立	・環境省と農林水産省の連携事業を県内企業が受託（平成24年11月）
	・公的補助金活用説明会（和歌山県商工観光労働部）	・37社参加（平成24年4月）
	・公的補助金活用説明会（堺商工会議所）	・38社参加（平成24年4月）
	・地域イノベーション戦略支援プログラム（文部科学省）	・国の認定取得支援 （「和歌山県特産農産物を活かした健康産業イノベーション推進地域」として認定）
	■和歌山県立医科大学との連携による医療分野進出支援 ・異業種交流会in和医大（医農連携シンポジウム）	・80名参加（平成24年8月）
	・技術相談	・2社受託
	■近畿大学との連携 ・技術相談（生物理工学部食品保全学研究室）	・1社受託
	■創業・新事業支援のための融資取り組み ・ドクターズローン※1	・累計142件、54億円の貸出
	■ピクシス営業室での創業新事業支援	・146社
②経営相談・支援機能の強化	■販路開拓支援（商談会等） ・「地方銀行フードセレクション2012」への参画	・16社出展、13件成約、継続商談286件（平成24年10月）
	・堺ものづくり取引拡大商談会	・37社参加（平成24年7月）

※1：医師・歯科医師（法人・個人）の皆様の事業資金等にお応えするローンです。紀陽銀行とお取り引きがない方、新規開業をご検討されている方もご利用いただけます。

平成２４年度上期　取組実績一覧（２）

項目	具体的な取組内容	実績
（②経営相談・支援機能の強化）	■地元農産品の販路開拓	
	・大阪府下の大型団地での朝市（UR都市機構との連携）	・平成24年6月以降継続実施中 ・第2弾は平成25年2月に泉南市内にて実施予定
	・商品力向上プログラム（ぐるなびとの連携）	・12社参加（平成24年7月）
	■海外販路開拓（グローバル・サポート・デスク）	
	・海外進出支援機関との連携強化	・50先以上の外部機関チャネル構築
	・香港・中国ビジネスセミナー	・26社参加（平成24年7月）
	・日中ものづくり商談会共催	・8社出展（平成24年9月）
	・FOOD EXPO 2012（香港）	・1社出展（平成24年8月）
	・海外進出支援業務提携	・ジャパン・ビジネス・ポータル（JBP）との提携（平成24年8月）
	・海外銀行との業務提携	・中国の交通銀行股份有限公司（略称：交通銀行）との業務提携（平成24年6月） ・インドネシアのバンクネガラインドネシアとの業務提携（平成24年9月）
	■人材確保支援	
	・和歌山大学 外国人留学生対象「学内個別企業説明会」	・6社参加、57名面談、1名内定済（平成24年4月）
	・和歌山大学 学内合同企業説明会（平日複数日開催）	・7社参加、33名面談（平成24年6月）
	・和歌山大学 合同企業説明会（休日1日開催）	・6社参加、45名面談（平成24年6月）
	・中途採用支援	・9社対応、3社採用
	・近畿大学 学内合同企業説明会	・10社参加、174名面談（平成24年6月）
	■事業継承セミナーによる情報提供	
	・和歌山市内にて開催（初の人的継承をテーマに講演）	・66名参加（平成24年10月）

平成２４年度上期　取組実績一覧（３）

項目	具体的な取組内容	実績
（②経営相談・支援機能の強化）		
	■医療・介護分野への取り組み	
	・外部機関との連携による医療介護分野の課題解決支援	・30件
	・外部機関から情報入手し医療分野新規開業対応	・23件
	・日本経営（経営コンサルタント）との連携強化	・当行全支店長対象の医療セミナー実施（平成24年5月）
		・支店別案件会議実施（6ヵ店）
	■経営支援のための融資取り組み	
	・地域応援団＜パートナー＞※1	・累計189件、10億円の貸出
	・コンタクトローン※2	・累計7件、1億円の貸出（平成24年3月取扱開始）
	■その他の取り組み	
	・再生可能エネルギー固定買取制度への対応	・外部5社と提携、51先の案件対応
	・事業継続計画（BCP）策定支援	・専門家19名育成（平成24年7～11月）
	・ピクシス営業室での経営課題への対応	・523社対応
③経営改善・事業再生	■外部機関等の活用による経営改善・事業再生支援	・2社（中小企業再生支援協議会との連携）
	■本部専門部署で経営改善支援に継続して取り組んでいる先	・310社
	・うち、経営改善計画を策定した先	・246社

※1：地元の中小企業経営者や個人事業主の皆様にお使いいただけるローンです。紀陽銀行営業エリア内の同一地域で業歴3年以上（当行とのお取り引きの有無を問いません）または、紀陽銀行と1年以上お取り引きをいただいている方で、業歴3年以上の方にご利用いただけます。
※2：当行営業エリア内に事業所を有する法人のお客様にお使いいただけるローンです。お客様に、お借り入れ期間中の財務の健全性維持をお約束していただく、財務制限条項をつけることで、よりお使いいただきやすい金利をご提示させていただく商品です。

平成２４年度上期　取組実績一覧（４）

項目	具体的な取組内容	実績
２．地域の面的再生への積極的な参画		
①地域活性化への取り組み	■バリアフリー化への取り組み ■産官学連携プロジェクト　地域活性化事業 ・「大人大学」（第４回）※1への参画 ■産業人材育成支援事業	・全営業店に各店１名以上の「認知症サポーター」を配置（平成24年6月） ・２１名参加（平成24年9月） ・和歌山大学での「和歌山企業トップ経営論」にて当行役員が講義（平成24年10月）
②企業連合体の組成によるニュービジネス創造、成長企業支援等	■高野山開創１２００年を契機とした地域ブランドの開発	・高野山金剛峯寺との連携協定締結 ３５社取組中（平成24年7月以降）
③「災害復旧支援」特別融資などの融資取り組み	■東日本大震災で被災された方々への特別融資取り組み（間接的に被災された方々を含む） ■平成２３年９月の和歌山県南部を中心とした台風１２号で被災された方々への特別融資取り組み	・累計８００件、２４９億円（平成24年9月末） ・累計１０８件、１５億円（平成24年9月末）
３．地域や利用者に対する積極的な情報発信		
①会社説明会の継続的な開催	■地元株主様向け説明会、個人投資家向け説明会 ・地元株主様向け説明会 ・個人投資家向け説明会	 ・和歌山、田辺、堺で開催（平成24年7月） ・和歌山、堺で開催（平成24年7、8月）
②情報発信のための刊行物発刊	■ディスクロージャー誌 ・ミニディスクロージャー誌の発刊 ・ディスクロージャー誌の発刊 ■CSRレポート2012　（CSR・・・社会的責任）	 ・平成２４年６月に発刊 ・平成２４年７月に発刊 ・平成２４年１０月に発刊
③経営情報の公表	■経営諮問委員会（アドバイザリーボード）の運営、議事内容のHPでの公表	・第１３回経営諮問委員会（アドバイザリーボード）を開催（平成24年12月）

※1：和歌山県における「知の交流をキーワードにした地域活性化」をねらいとして、「世界遺産の聖地 紀州和歌山へ短期留学」をテーマに滞在・交流型の講座を企画・事業化したものです。